



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

「栄冠は備えのある人に」 学校長

実りの秋を迎え、後期も早一カ月が過ぎようとしています。三年生は、大学入試センター試験の出願を済ませ、センター試験まで九十日、二次試験まで百二十日を切りました。今年度は新教育課程が実施されて初めての大学入試で、懸案の英語のリスニングテストも導入されます。これまでの先輩同様、十分な備えをして自分の目標である栄冠をつかんで欲しいと思います。

一年生は中堅の学年とは言え、実質的には勉学・部活動を通して鶴丸の中心的な責任を果たす学年です。生徒会をはじめ、あらゆる部門で鶴丸の伝統を受け継いだリーダーシップを発揮してもらいたいものです。

一年生は、文理選択の時期を迎えています。どの分野に進むにせよ、十年後、二十年後の自分がどういふ職業に就いて、社会に貢献したいか、という強い憧れ・志を持つ事が大切だと思います。

島津日新公の「島津いろは歌」の中に、「名を今にのこし置ける人もひとこころも心 なにかをとらむ」(名声を今日に残すような立派な業績をあげた人も同じ人間、こころも同じ心である、どこに劣ることがあるかも)という歌があります。

また、京セラの稲盛会長も成功の方程式は「仕事の結果」考え方×能力×熱意で表されると説いておられます。この「考え方」が日新公の説く「こころ」であります。何百年も前に人材を育てる素地があった郷土鹿児島。生徒諸君が、「あの人に出来たのに自分には出来ないはずはない」という強いプラス思考で難題に挑戦し、「鶴丸は勉強するところである」という伝統を実践してくれることを願っています。

鶴華絢爛 鶴丸は文化の花盛り

あいにくの小雨模様にもかかわらず、来賓・保護者、一般の来場者を多数お迎えして、吹奏楽部によるファンファーレが高らかに響きわたる。第五十七回文化祭は華やかに幕を開けた。

ステージ部門のトップはダンス部、会場全体は一気にヒートアップ。続いて音楽部は、繊細で変化に富む歌声で聴衆を魅了し、書道部は舞台上の看板に文化祭テーマを見事に揮毫した。放送部は全国レベルの実力を大いにアピールした。職員合唱ではコントが会場を大いに沸かせ、「しあわせになろうよ」の合唱でステージ発表の前半をさわやかに締めくくった。

一年生の教室には、各クラスの個性的な取組が展示・発表され、参観者の興味を引いていた。写真部、化学部、映画部、書道部、美術部、イラストレーション研究部、百人一首部、囲碁部、歴史同好会、生徒保健委員会は、この日のために時間をかけて制作に取り組んできた力作を展示・発表したり、実験や演奏等のパフォーマンスを披露したりした。書道部は、合奏、吹奏楽、バイオリンの生演奏にのせた揮毫を中庭で披露し、好評を博した。



写真部、化学部、映画部、書道部、美術部、イラストレーション研究部、百人一首部、囲碁部、歴史同好会、生徒保健委員会は、この日のために時間をかけて制作に取り組んできた力作を展示・発表したり、実験や演奏等のパフォーマンスを披露したりした。

草寿庵では、恒例のお茶会「秋鶴苑」が催され、ゆったりとした気分でお茶



を楽しむ参観者の姿が見られた。三年生から提供された学習用品や日用品を販売したチャリティバザー、食物バザー、ユニセフカード販売も大好評であった。これらの収益金は、ユニセフ募金に寄付される予定である。

ステージ発表後半は、特別参加の五団体と演劇部の熱いステージが繰り広げられ、最後には、吹奏楽部が歌あり踊りありの多彩な演出と磨きあげたつるすいサウンドで「鶴華絢爛」と銘打った今年の文化祭を華やかに締めくくった。

「全体的にとても落ち着いた雰囲気の中生徒の皆さんが生き生きと活動していたのが、印象的でした。」御来場いただいた一般の方の感想である。

最後に、文化祭の企画・運営に当たり、文化祭を陰で支えてくれた生徒会、文化祭実行委員の誠心誠意の取り組みに敬意を表します。

明確な職業意識・進路目標を！

一学年では、「総合的な学習」の一環として、「先輩に学ぶ進路学習」(GO鶴セミナー)を実施している。県内(主に市内)で活躍している本校の先輩の職場を訪問し、社会に対する視野を広め、職業を通して自分の将来を具体的にイメージし、進路決定の一助にしようという趣旨である。また、経験豊かな先輩の話を通して、自らの在り方、生き方を模索し、アイデンティティ確立のステップにして欲しいという願いもある。

今年度は四十七の職場の協力が得られ、

一班六八名が八月十七日、八月二十五日の間に訪問した。生徒達は、「今の職業を選択したきっかけ」、「高校・大学時代の学問や経験がどう活かされているか」、「社会人・職業人としての厳しさややりがい」など、いろんな話を伺い、感激して帰ってきた。その後、今回の訪問から得たものを学級や学年で共有すべく、先輩に学ぶ進路学習の発表会」を実施した。九月十四日に学級発表を行い、クラス代表のそれぞれ八班が、九月二十六日に学年発表会を実施した。生徒達はパソコンを駆使して見事なプレゼンテーションを行い、初期の目的を十分に達成したように思う。

また九月十七日には、鹿児島西口タワークラブの主催による、「第十五回職業選択フォーラム」が本校文化館で実施された。本校一学年及び鹿児島高校生が参加し、パネルディスカッション(コーディネーター一名、パネラー五名)形式で行われた。パネラーのそれぞれに、人生が動いた」と感じるその時を見逃さず確実に掴むには、「その時々を真摯に生きることが大切だ」という話や、「夢はとにかく大きく、はつきりと分かるものを、目標は近く、頑張れば届くもの」というアドバイス等を頂き、生徒達は真剣な面持ちでパネラーの話に聞き入っていた。

地域が育む「かごしまの教育」 県民週間のお知らせ

県教育委員会は、十一月一日、七日を学校・家庭・地域の一層の連携を目指し、教育の充実・発展を図るために、「地域が育む」かごしまの教育「県民週間」として設定しています。本校でも、この期間中に文化講演会・公開授業や一中・一女・鶴丸高校の資料館・悠久館の公開を実施致します。

11月の行事予定表 (Table with columns for date, event name, and category)

既に、生徒便にて案内いたしました。右のようにミニコンサートを新たに計画しています。希望される方は是非学校にお越しいただき、生徒達の学習活動や学校生活の様子を御覧いただきたいと思います。